令和 5 年 12 月

JER コンクリート補改修協会への入会のご案内
JER コンクリート補改修協会管路部会への入会のご案内

JER コンクリート補改修協会
JER コンクリート補改修協会　管路部会

１．JER コンクリート補改修協会の概要

「JER コンクリート補改修協会」の前身にあたる「JER 認定施工協会」は、コンクリート防食に携わる施工会社､材料製造会社による調査研究及び技術開発､成果の検証と普及、技術研修会や資格認定試験の実施を通じ、専門技術者の育成等の活動を重ね、平成 14 年 12 月に日本下水道事業団の指針が性能照査型に全面改訂され､性能保証が具体化されたことに対応し、性能保証制度を整備した協会組織として発足しました。

これを継承しつつ、コンクリート防食で長年培われたコンクリート構造物の劣化要因の検証から補修技術開発、対策実施の経験を活かし、管路施設や農業用水路、橋梁施設等の社会資本ストックにみられる各種コンクリート構造物の長寿命化対策への活動にも今後積極的に取り組み、社会貢献を果たしていく協会団体へと転身していく為、平成 28 年 6 月に「JER コンクリート補改修協会」と改名しました。

同時に、協会内に分科会「管路部会」を発足し、下水道管路施設の長寿命化対策にも対応いたします。

２．JER コンクリート補改修協会の目的

1)会員の営む各種コンクリート構造物の長寿命化対策事業の社会的信頼性の向上。
2)コンクリート防食に関わる専門技術者及び各種コンクリート構造物の長寿命化対策工事に関わる技術者の育成。
3)コンクリートの防食技術及び長寿命化対策技術に関わる優れた製品及び高品質施工の普及。
4)会員の社会的地位の向上。
5)会員相互の親睦。
6)分科会（専門部会）の目的は、分科会（専門部会）で別途定める。

３．JER コンクリート補改修協会の活動

1　協会員施工のコンクリート防食工事（協会認定工法の内指定工法）の性能保証
2　技術講習、専門技術者資格認定、技能士検定、長寿命化工事に関する技術者の育成
3　コンクリート防食技術、長寿命化対策技術に関わる優れた製品及び高品質施工の普及
4　関係機関、学協会、団体、公共事業体等に関わる調査研究活動
5　コンクリート防食技術、長寿命化対策技術の向上と普及に必要なその他の活動

４．JER コンクリート補改修工協会の認定工法・製品

日本下水道事業団の「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル」の品質規格に適合する塗布型ライニング工法、シートライニング工法、モルタルライニング工法、断面修復材料など。

当協会の認定工法・製品の詳細に関しては、協会案内カタログ等をご参照下さい。

５．JER コンクリート補改修協会の会員の種別と会員数

表 5-1　会員の種別と会員数

種　別	会員の種別内容	会員数
1 種正会員	各種コンクリート構造物の長寿命化対策工事を営む会社	148
2 種正会員	材料製造業を営む会社	5
会員の事業所	複数入会している会員の事業所	15
賛助会員	賛助協力する会社	5
特別会員	研究機関・コンサルタント	1
合計		174

令和 5 年 12 月 31 日現在

６．JER コンクリート補改修協会　管路部会

JER コンクリート補改修協会は、上下水道処理施設内面のコンクリート防食等を主な対象施設としておりましたが、ここ数年管路施設（マンホール・管渠等）の補修分野の技術開発を行っております。

平成 26 年 12 月に「下水道用マンホール改築・修繕工法に関する技術資料」（日本下水道新技術機構）が発刊され、マンホールの補修事業の増大が予想されます。

マンホール補修工事に対して、技術資料に基づく技術審査証明の取得等な活動を行っております。

マンホールを含めた管路施設の維持修繕事業への工法普及活動として、平成 28 年 6 月 8 日に発足総会を開催し、管路部会が発足しました。

当協会への入会並びに管路部会へも入部会をご検討下さい。

平成 29 年 8 月 3 日の部会総会で、新たな会員種別として「3 種地域部会員」を設けました。3 種地域部会員は、一定地域内で、管路施設の改築・更新・防食・修繕等の工事を受注する事業を営み本部会の目的に賛同する法人です。3 種地域部会員の詳細に関しては、管路部会運用規則をご参照下さい。

表 6-1　部会員種別と部会員数

種　別	会員の種別内容	部会員数
1 種部会員	管路施設の改築・更生・防食・修繕等の工事業を営む会社	67
2 種部会員	材料製造業を営む会社	2
3 種地域部会員	一定地域内で、管路施設の改築・更生・防食・修繕等の工事を受注する会社	6
1種部会員事業所	複数入会している 1 種部会員の事業所	5
2種部会員事業所	複数入会している 2 種部会員の事業所	7
賛助部会員	賛助協力する会社	2
特別部会員	研究機関・コンサルタント	0
合計		90

令和 5 年 12 月 31 日現在

7．入会金・入部会金及び会費・部会費

7.1　JER コンクリート補改修協会だけに入会する場合

表 7-1　JER コンクリート補改修協会の入会金及び会費

種　別	入会金（円）	会費／年間（円）
1 種正会員	200,000	120,000
2 種正会員	200,000	120,000
会員の事業所	50,000	60,000
賛助会員	200,000	120,000
特別会員	100,000	60,000

7.2　JER コンクリート補改修協会の会員が管路部会に入部会する場合

表 7-2　管路部会の入部会金及び部会費

種　別	入部会金（円）	部会費／年間（円）
1 種部会員	300,000	150,000
2 種部会員	300,000	150,000
1 種部会員の事業所	免　除	60,000
2 種部会員の事業所	免　除	150,000
賛助部会員	300,000	150,000
特別部会員	免　除	60,000

7.3　JER コンクリート補改修協会に入会同時に、管路部会に入部会する場合

表 7-3　JER コンクリート補改修協会の入会同時に、管路部会に入部会する場合
（表 7-1 と表 7-2 の合計金額）

種　別	入会金・入部会金（円）			会費・部会費／年間（円）		
	協会	管路部会	計	協会	管路部会	計
1 種正会員 1 種部会員	200,000	300,000	500,000	120,000	150,000	270,000
2 種正会員 2 種部会員	200,000	300,000	500,000	120,000	150,000	270,000
1 種会員の事業所 1 種部会員の事業所	50,000	免除	50,000	60,000	60,000	120,000
2 種会員の事業所 2 種部会員の事業所	50,000	免除	50,000	60,000	150,000	210,000
賛助会員 賛助部会員	200,000	300,000	500,000	120,000	150,000	270,000
特別会員 特別部会員	100,000	免除	100,000	60,000	60,000	120,000

7.4　JER コンクリート補改修協会の非会員が 3 種地域部会員として、管路部会だけに入部会する場合

表 7-4　管路部会　3 種地域部会員の入部会金及び部会費

種　別	入部会金（円）	部会費／年間（円）
3 種地域部会員	100,000	100,000

※3 種地域部会員の詳細に関しては、管路部会運用規則を参照。

以上